

令和8年3月11日

舟形町議会
議長 斎藤 好彦 殿

産業振興常任委員会
委員長 佐藤 広幸

所管事務調査報告書

産業振興常任委員会の所管事務調査の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 期 日：令和8年2月18日（水）

2. 調査内容：令和7年度各課主な事業の取組み状況について

○農業振興課

(1) 豪雪による農業用施設等の被害状況について

- ・施設4棟（施設、機械） 7,600千円
- ・果樹（西洋梨）0.26ha 1,400千円
- 計 9,000千円

○地域整備課

(1) 空き家略式行政代執行について

- ・執行日 令和7年10月15日 事業費 7,469千円
- ・完成日 令和7年11月21日

(2) 中袋地区、土砂災害復旧の現状について

令和6年災中袋地区道路復旧工事

- ・契約金額 406,450千円
- ・工期 令和7年6月16日～令和8年3月31日

(3) 本堀地区の土砂崩れ、迂回路の状況について

- ・治山工事完成予定 令和8年11月末日
- ・道路工事完成予定 令和9年3月
- ・迂回路は雪解け後に調査

○まちづくり課

(1) 舟形小学校若あゆ太陽光発電所の発電状況、管理状況について

- ・ 運転開始 令和7年10月1日
- ・ 管 理 (株)やまがた新電力(山形市)
- ・ 太陽光発電量実績

10月 1, 225 KWh (発電量予測の93%)

11月 780 KWh (発電量予測の106%)

12月 420 KWh (発電量予測の68%)

※太陽光パネルに積雪があると発電しないため1～2月は実績ゼロ。

3. 所 感 :

○農業振興課

(1) 豪雪による農業施設の被害状況についてはすみやかに県に報告をすること。

また、対策として施設の共済加入など、適切なアドバイスを行うこと。

○地域整備課

(1) 空き家略式代執行については、略式代執行になる前に早めに関係者に指導することが重要である。

(2) 中袋地区、災害復旧工事については、令和9年3月完成予定であるが、早期完成を目指してもらいたい。

(3) 本堀地区土砂崩れ、迂回路については、現在迂回できない状況であり、治山工事を早期復旧し、速やかに県道の通行を確保すべきである。

○まちづくり課

(1) 舟形小学校若あゆ太陽光発電所の発電については、実証実験の結果が豪雪地帯でも有効活用となることを期待している。

また、環境教育の一環として利用していることは評価できる。